

情報技術を利用した産学官連携人材育成の現状と問題提起 (ワークショップ)

オーガナイザ：夜久竹夫（日本大学），JSiSE 人材育成委員会

ICTを利用した人材育成は活用が広がっていて、すでに広く活用されている分野としてICT分野の人材育成があり、同時に他分野の人材育成も行われつつある。しかしながら、最新の事例については教育関係者の間で必ずしも広く周知されているわけではない。

そこで、本プレカンファレンスでは関係者をお招きして、ICT分野の人材育成におけるICTの利用と最近の動向や、他分野の人材育成におけるICTへの問題提起等をお話していただくワークショップを行う。

初めに人材育成の最近の事例として（１）産官学連携によるIT人材育成の事例と、（２）産学連携による高度IT人材育成における取り組みを報告いただく。さらに、（３）今後ICT利用の人材育成が求められている土木分野の人材育成について、ICT分野への問題提起をしていただく。さらにその後、ワークショップ参加者と、人材育成における更なる活用の方法や今後の課題について議論する。

パネル講演

1. 大蒔和仁（東洋大学総合情報学部、産総研名誉リサーチャー）、「産学官連携によるIT人材育成の事例」
要旨：産業技術総合研究所に在職中に特にITの人材育成についてはつくばよりも東京に拠点を置く必要性を強く考え、秋葉原に進出したいと考えた。セキュリティ関連とグリッド関連のグループを置いた。その経緯を報告する。また数年前に東洋大学総合情報学部（川越）に異動しそこで川越周辺の中小企業の技術者を前にITの、特にオープンソースソフトウェアとアルゴリズムの話を中心に講義をした。そ印象を述べる。
2. 下房地毅（IPA・IT人材育成本部）、「産学連携による高度IT人材育成の課題と今後の方向性」
要旨：IPAは文科省と経産省の産学人材育成パートナーシップの下、大学等の高等教育機関におけるIT人材の育成に産業界の支援を加えた実践教育の展開をプロモートして来た。今、ITの利活用によりイノベーションを起こせる人材の育成が求められており、IT融合、デザイン思考、起業家をキーワードに、今後のIT人材育成の重点化方向について私見を報告する。
3. 二宮利江（東京大学大学院情報学環）・鈴木雄吾（東日本高速道路株式会社）、「高速道路事業における技術者育成」
要旨：2011年に東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）と東京大学大学院情報学環の間で「情報社会基盤に関する研究協力協定」を締結し、その一環として「行動観察手法を用いた点検業務の改善」に関する研究を開始した。実業務の作業分析や行動分析を実施した結果、技術者育成に課題と可能性があることが判明し、2014年より研究対象を高速道路事業の技術系業務に拡大し、高度な技術者育成の仕組みを検討している。